

2019年9月20日

第8回日本HRチャレンジ大賞を受賞しました

～ライフイベントで離職する人材を相互に受け入れるスキーム「民鉄キャリアトレイン」への大手民鉄全社の参画を実現～

東 急 株 式 会 社

当社は、第8回日本HRチャレンジ大賞(主催:「日本HRチャレンジ大賞」実行委員会、後援:厚生労働省ほか)を受賞しました。この賞は、人材領域で優れた新しい取り組みを積極的に行っている企業を表彰するもので、全79事例から選定されました。今回の受賞では、配偶者の転勤や家族の介護など、勤務場所の都合で就労継続が困難な各社社員を相互で受入れるスキーム「民鉄キャリアトレイン」の立ち上げに際し、当社が大手民鉄各社に働きかけ、2019年6月15日に大手民鉄全社の参加を実現したことが評価されました。

大手民鉄各社では、配偶者の転勤や家族の介護などにより会社を退職し、他地域に移動する社員の増加が将来の大きな課題の一つと考えています。民鉄キャリアトレインでは、このような社員に対して、東京、名古屋、大阪、福岡の主要都市でビジネスを展開する参加各社間で、本人の希望と受入会社の事情に合わせて、活躍の場を提供するものです。

民鉄各社は、鉄道事業を基盤に、不動産事業をはじめ地元の生活に密着した独自のビジネスモデルを展開することで成長を続けています。参加各社は、各社社員が経験したノウハウを民鉄ビジネスにおける「共通財産」と捉え、相互に即戦力として活かすことで、優秀人材の確保につなげるとともに、沿線地域の更なる発展に貢献します。また、各社社員にとっても、ライフイベントによらず民鉄ビジネスのキャリアを継続することで、働きがいや働きやすさの享受が期待できます。

このほか、当社では、スマートチョイスをはじめとした鉄道現業における働き方改革など、さまざまなダイバーシティマネジメント施策を実施しています。今後も、多様な人材が安心して働き、活躍できるダイバーシティマネジメントを推進することで、さまざまな視点を生かしたイノベーションを実現し、お客さまに「選ばれる沿線」を目指します。

民鉄キャリアトレイン、そのほかダイバーシティマネジメント施策の概要については別紙のとおりです。

以 上



▲授賞式にて社長登壇



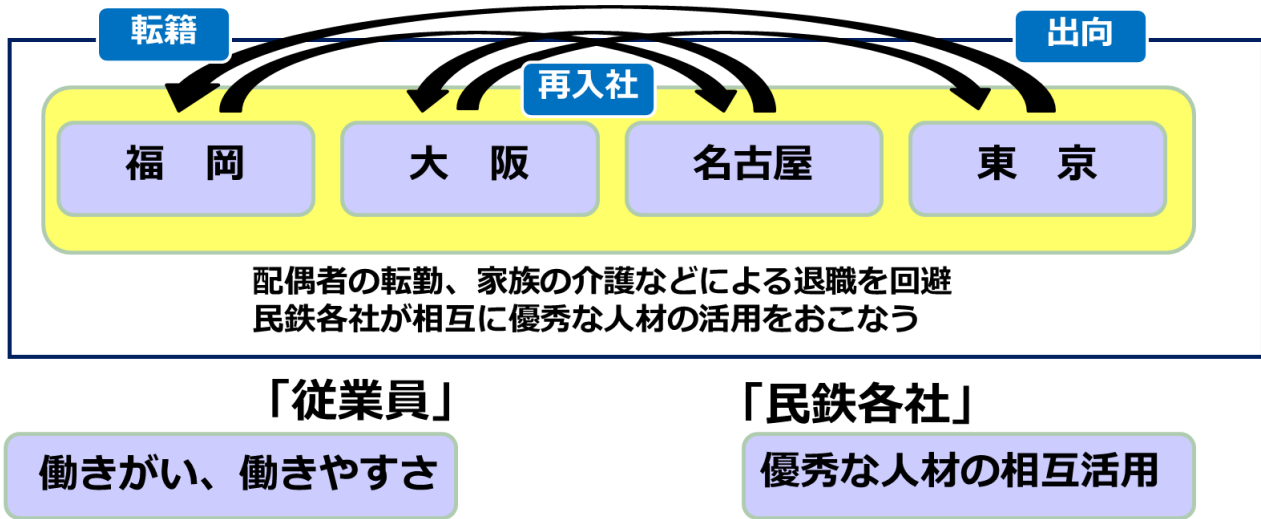
▲授賞式集合写真

【別紙】

■民鉄キャリアトレイン概要

1. 人材相互受入スキームイメージ

勤務場所の都合で就労継続が困難な各社社員の相互受入スキーム



優秀な人材確保が困難ななか、大手民鉄が連携することで、
各社相互のダイバーシティマネジメントを実現する

2. 立ち上げ日

2018年6月15日(金)

3. 参加会社 (全 15 社)

東急(株)、東武鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、京王電鉄(株)、京成電鉄(株)、東京地下鉄(株)、
小田急電鉄(株)、相模鉄道(株)、西武鉄道(株)、名古屋鉄道(株)、近鉄グループホールディングス(株)、
阪急阪神ホールディングス(株)、京阪ホールディングス(株)、南海電気鉄道(株)、西日本鉄道(株)

4. 人材受入

(1) 対 象

- ・ライフイベントなど、勤務場所の都合で就労継続が困難な各社社員
- ・各社個別事情の許容範囲で、里帰りニーズ社員への対応など多岐にわたる人材交流の可能性も検討

(2) 受入形態

- ・対象者や受入側会社の事情に合わせ転籍のほか、出向など幅広い形態での対応も考慮する
- ・再びの転居などにより、元の紹介側会社への復帰、再入社を認める場合もあり

(3) 各社連携

- ・参加各社が本スキームに関する連絡窓口を設置
- ・当該事象が生じた場合には、当該個社間で紹介、受入を検討
- ・受入可否については、受入側会社の判断とする

■当社のダイバーシティマネジメント施策

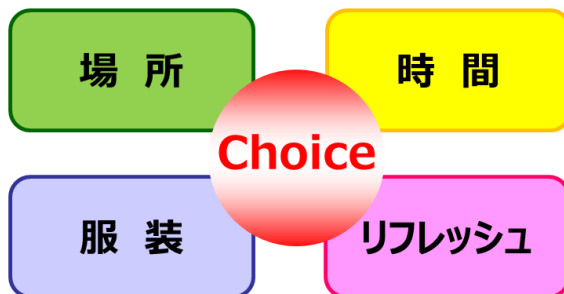
(1) スマートチョイス

当社は時代と従業員のニーズ、職場状況に応じて、さまざまな制度などを整備してきました。多様な職務・個々人の環境も多様化してきたことに合わせて、従業員が「自律的に」働き方を選択するよう促すため、概念を統一し展開しています。今年度は東京都が展開する「スムーズビズ」を追い風にさらなる浸透に向けた取り組みを実施しました。

Smart Choice (スマートチョイス)

年間を通じて、自身の職務・環境に合わせたスタイルを自ら選択する取り組み。従来の働き方に捉われず、創造性発揮や業務の効率化を考え、従業員が主体的に働き方を選択することを目的としている。

- ・ サテライトオフィス勤務
- ・ Web会議



- ・ 分散出社
- ・ アーリーワーク (7:30出社)

- ・ クールビズ、ウォームビズ
- ・ ウォークビズ

- ・ ポジティブワン (部署別計画年休)
- ・ 1日2回の体操
- ・ 喫煙対策

(2) 鉄道現業における働き方改革(トライアル)

1. 目的

- ・ 相互に支え合い、従業員一人ひとりが最大限活躍することにより、社員が健康を維持・増進し、仕事を通じた充実感を得られるようにすること。
- ・ 現場最前線でのお客さま対応の機会を増やすことで、多様化するお客さまニーズに直に触れ、社員と会社の成長に繋げていくこと。
- ・ ライフステージ、ライフスタイルにあわせた働き方を選択可能とすることで、全ての社員が安心して働き続けられる環境を整備すること。

2. トライアル対象

鉄道現業(駅係員、運転士、車掌)の育児中の女性社員・シニア

3. トライアル内容

シフト(交番)を分割した勤務、ラッシュ時間帯の勤務など、現制度や運用の制限の中にこだわらず、社員が最大限活躍するための制度・運用・サポートを整備し、実施。